

第3回 地方鉄道向け無線式列車制御システム技術評価検討会 概要

1. 日時 : 令和3年3月30日(火) 16:00~17:30
2. 場所 : 中央合同庁舎3号館6階 鉄道局大会議室
3. 出席者 : 中村日本大学名誉教授、水間東京大学特任教授、高橋日本大学教授、
研究機関、関連団体、鉄道事業者、
国土交通省鉄道局、日本信号株式会社

4. 結果概要 :

日本信号から、地方鉄道向け無線式列車制御システムについて、システム構成に係る検討や安全性評価等の進捗状況の報告が行われた後、意見交換を実施した。また、東日本旅客鉄道より、八高線で実証試験を実施したGNSS無線踏切制御システムの概要について、情報提供が行われた。

委員等からの主な発言は以下の通り。

- 速度発電機が、現在の地方鉄道の車両に用いられている仕様のもので良いか検討する必要がある。
- 「通信必須区間」「通信区間」「通信不要区間」に分けることは非常に重要であるが、それぞれの定義を明確にする必要がある。
- 「通信必須区間」の通信は連続である必要があるのか、整理する必要がある。
- 「理想とするシステム」と「実証試験の構成」の違いを明確にし、どのようにすれば「実証試験の構成」が「理想とするシステム」に近づけるのか、報告していただきたい。
- 事業者が導入するときのことを考慮し、施工標準やマニュアルについて定めるときに、必要なパラメータ等の意味を整理する必要がある。